




発表項目 (行事名)	 ほっかいどう未来チャレンジ基金 「みらチャレ通信」Vol. 30の発行について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
概要	<p>北海道の未来を担う若者達の海外挑戦を応援するため、平成28年12月に創設した「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。この基金により海外に留学した方々の活動状況などをお伝えする月刊紙「みらチャレ通信」Vol. 30を発行しました。</p> <p>■掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道銀SDGs 私募債」を活用した「みらチャレ」への寄附 ・第4期生の募集を開始します ~令和2年度からの変更点~ ・留学生達の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 学生留学コース：石垣さん、有働さん、海辺さん スポーツコース：向井原さん 文化芸術コース：清水さん 未来の匠コース：鹿野さん <p>■主な配布先 応援パートナー（企業、団体等）、道内大学等 ※基金ホームページにも掲載しています。</p> <p>■発行時期 毎月下旬</p>		
参考	ほっかいどう未来チャレンジ基金 公式Facebook「みらチャレ」 https://m.facebook.com/mirachalle/ 基金生の海外での活動状況等を随時掲載しています。  公式Facebookページ みらチャレ 		
報道（取材） に当たって のお願い	助成対象者の海外留学の状況を情報発信することにより、道内の若者の海外挑戦に向けた機運醸成と、寄附などオール北海道での応援体制の構築を図っていききたいので、積極的な報道にご協力よろしく申し上げます。		
他のクラブ との関係	同時配付 (場所) 同時レク		
担 当 (連絡先)	総合政策部政策局総合教育推進室 永田 電話：ダイヤルイン 011-206-7380 (内線 23-109)		

北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」の旬な情報をお届けします! 3月末時点で、第3期生4名が海外留学中です! ※うち2名が新型コロナウイルスの影響で一時休止中

「道銀SDGs私募債」を活用した「みらチャレ」への寄附

北海道銀行様の御協力により、2020年4月1日から「道銀SDGs私募債」の寄附先に「ほっかいどう未来チャレンジ基金」を追加していただくこととなりました。

私募債発行企業からの指定により、**発行額の0.2%**が「ほっかいどう未来チャレンジ基金」に寄附されます。



第4期生の募集を開始します ~令和2年度からの変更点~

ほっかいどう未来チャレンジ基金第4期生の募集を4月に行います。令和2年度から制度が変更されている点がありますので、お知らせします。募集の詳細についてはホームページをご覧ください。

学生留学コース

支援の対象となる分野の拡大

変更前

- 農林水産業
- 食・ものづくり産業
- 観光産業
- 環境・エネルギー産業

変更後

- 北海道の優位性を活かす分野
- 北海道の課題解決に資する分野
- その他北海道の活性化に資する分野

スポーツ、文化芸術、未来の匠コース

海外研修の対象が拡大

海外研修中に国際大会等に参加する場合、参加に要する費用も奨学金の対象となります。(大会参加のみの応募区分は廃止)

支援終了後、最長2年間の道外(海外)居住が可能

奨学金の支給(最長1年間)が修了した後は、道内に3年間居住することが条件となっていますが、令和2年度からは、**2年**を上限として一時的に道外(海外)に居住できることとしました。

※「北海道特派員」として、北海道の情報発信等に取り組むことが条件となります。

※現在、新型コロナウイルスの影響で海外への渡航が制限されております。応募に当たっては外務省の海外安全ホームページなどで最新の情報をご確認ください。

留学生たちの活動状況

学生留学コース

第3期生 石垣のぞみさん 【留学先】ドイツ 【留学期間】2019年10月~2020年8月(11か月間) ※現地で一時的に本道農業の魅力を発信するため、持続可能な農業のあり方を考えるとともに、グリーンツーリズムを学ぶ

2月もファームインを運営する農家に滞在し、有機農業やファームインの経営について学びました。

農場から車で10分程のところにある元レストランの施設を第2のファームインにするための準備作業として、古い家具を運び出したり、古い絨毯を裁断して処分する作業を行いました。また、滞在しているシュロスベルグホフは森に囲まれていて、病気の木や倒木を切断し、薪ストーブで利用する家が多くあります。森からエネルギーを得て、それが森に還元される環境に優しいカーボンニュートラルの考え方がライフスタイルとして根づいていることを学びました。



第3期生 有働 篤人さん 【留学先】フィンランド 【留学期間】2019年10月~2020年5月(9か月間) ※一時休止で帰国札幌を世界のデジタル観光都市にするため、先進的なゲーム制作やソフトウェア開発を学ぶ

2月は「ゲームジャム」というゲームを短時間で制作するイベントの一つである「Global Game Jam(GGJ)」に参加しました。札幌にもGGJのサテライト会場があり、日本にいた頃から運営に関わっていたので、運営サイドとしての活動にも注目して参加しました。

GGJは、初めにテーマが発表され、その会場で出会った人とチームを組んでゲームを制作することがルールです。他のサテライト会場に参加しているクリエイター同士がチャットで連絡を取る仕組みがあり、この仕組みを利用して進捗状況や成果を共有することで、更なるクリエイター活動につながっています。



第3期生 海辺 菜々美さん 【留学先】カナダ、アメリカ 【留学期間】2019年9月～2020年3月（6か月間）※帰国済
 北海道の地域資源を活かした観光振興のため、アラスカでアドベンチャーツーリズムを学ぶ
 2月は、フェアバンクス観光に関するヒアリング、パービシネンターでのボランティアを行いました。
 また、観光ニーズ調査をWebアンケートの形で始めました。
 観光に関するヒアリングでは、フェアバンクスのモリス・トプソフ文化・ビジネセンターでお話を伺い、観光で大切なのは、現地の方との交流だと学びました。また、日本に行きたい人は沢山いるので、外国語のコンテンツをもっと増やすことが必要だとアドバイスをいただきました。観光ニーズ調査では、佐呂間と北海道への観光ニーズなどの調査を行い、これからの観光を考える一助として役立てたいと考えています。



スポーツコース

第3期生 向井原 洋平さん 【留学先】アメリカ 【留学期間】2019年7月～2020年7月（1年間）
 アスレティックトレーナーに必要な最新スポーツ医学の知識と技術を学び、道スポーツ界に貢献

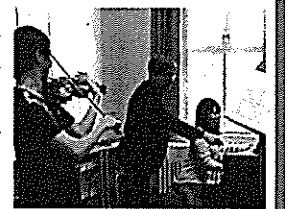
2月14日から大学野球の公式戦が始まり、投球障害の予防のため、チームの投手陣全員に対して、肩関節周囲筋群と腱板（肩甲骨腕関節の安定に重要な4つの筋肉）のトレーニングを週2回必ず私のもとで行うよう指導しています。いくら予防に努めていても、予期せぬ障害が起こるので、受傷時は速やかに初期の処置を行い、チームドクターに連絡を取り、最短での診察が受けられるように手配しています。
 チームドクターは試合に帯同していませんが、スピード感を持って対処できるよう心がけています。



文化芸術コース

第3期生 清水 柚衣さん 【留学先】ハンガリー 【留学期間】2019年9月～2020年6月（10か月間）
 ハンガリーでリスト音楽院のプログラムに参加し、演奏活動を通じ、北海道の音楽環境やレベル向上を目指す

2月から新学期が始まり、週2回参加していたハンガリー語のレッスンを1回に減らし、ソルフェージュ（楽譜読み）のレッスンを受けることとしました。
 レッスンでは和声形成時の近親調（同じ音が多く含まれる調）への転調の方法の基礎を学び、筆記だけでなく、ピアノで弾く訓練も行っています。日本で使われている和声システムとは少し違いがありますが、少しずつ慣れてきています。
 新たな留学生も入ってきて、新しい刺激を受けることができています。



未来の匠コース

第3期生 鹿野 皓己さん 【留学先】ドイツ 【留学期間】2019年9月～2020年2月（6か月間）※帰国済
 北海道ブランドのワインを確立するため、ワイン醸造の最先端技術を学び、醸造技術の向上を目指す
 2月は出来上がったワインのビン詰め作業と2019年シーズンの総括としてこちらのワイナリーの収穫状況を教えていただきました。

ビン詰め作業は、ドイツの「KRONES」社製の大型ビン詰めラインを使用しており、スパークリングワイン以外は全て自社でビン詰めを行っています。ドイツでは、多少炭酸ガスが入っているワインが好まれ、ビン詰め時の無菌濾過の前にワインの種類によりCO2の注入が除去を行っています。
 日本のワイナリーと比較しながら教えていただくことが出来たので、非常に意味のある研修になりました。学び得たことを帰国後北海道に還元できるように努めていきます。



応援パートナーの皆様

(2020年3月現在・敬称略)

有末 真哉 石川 諭史 遠藤 光二 小黒 敬三 坂詰 貴司 佐藤 友昭 (税理士法人FULL SUPPORT 代表社員税理士) 鈴木 伸明
 武田 孝 (拓殖工業(株)代表取締役会長) 船津 秀樹 その他匿名希望の個人・企業5者

北海道総合政策部政策局総合教育推進室

TEL: 011-206-7380 (直通) FAX: 011-232-6313

E-mail: mirai.jinzai@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ: <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sky/mirai-jinzai.htm>



公式Facebookページ
 みらチャレ



基金生のチャレンジ風景をお届けします。